



下呂市 GERU CITY 議会だより assembly

令和2年2月1日
第63号



東第一小学校の6年生が議会を見学

CONTENTS

- 12月定例会の報告(審議結果、委員会報告) 委員会活動 (P 2~P 5)
- 一般質問で12人が市政を問う (P 6~P11)
- 市民と議会との意見交換会を開催、市外視察報告 (P12~P13)
- 表紙の写真、3月定例会日程、委員会活動 (P14)

12月定例会の報告

11月29日から12月19日までの21日間、令和元年第3回下呂市議会定例会を開催しました。初日には専決処分した補正予算の承認、きこり大橋塗装工事の変更契約の締結などを可決しました。この他、条例の改正や一般会計など各会計の補正予算、追加提案された森8号線の用地購入費などの補正予算を各委員会に付託し最終日に可決しました。また、最終日には小中学校の大型提示装置購入などに係る財産の取得についてと、議会改革特別委員会から下呂市議会議員の費用弁償を支給するための条例改正（P4参照）が提出され可決しました。

上程議案と審議結果

○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

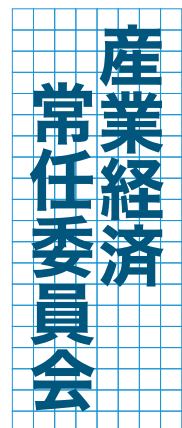
議案名	審議結果
専決処分の承認について（令和元年度下呂市下水道事業特別会計補正予算（第3号） 下水道管移設工事の補正予算を専決処分したので承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
きこり大橋長寿命化補修工事請負契約の変更契約の締結について きこり大橋の塗装工事について、塗装箇所を追加し増額変更するもの。	
和解することについて 個人情報漏洩被害国家賠償請求事件に関し、和解するため議決を求めるもの。	可決 (全会一致)
岐阜県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岐阜県市町村職員退職手当組規約の変更に関する協議について 岐阜県市町村職員退職手当組合の規約変更のため、関係地方公共団体で協議するもの。	
下呂市個人情報保護条例の一部を改正する条例について 法律の改正などを踏まえ、個人情報を適切に管理するため改正するもの。	
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について 法律の施行に伴い、関係する3つの条例について引用部分などを改正するもの。	
下呂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について 支給対象となる職員がいない特殊勤務手当を削除するもの。	
下呂市職員の給与に関する条例及び下呂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について 令和元年度の人事院勧告を踏まえ、下呂市職員の給与に関し必要な見直しを行うもの。	
下呂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 特別職の期末手当の支給率について、職員の支給率を踏まえて改定するもの。	
下呂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について 議会議員の期末手当の支給率について、職員の支給率を踏まえて改定するもの。	
下呂市税条例の一部を改正する条例について 軽自動車税種別割の減免対象を改正するもの。	
下呂市立診療所設置条例の一部を改正する条例について 市立診療所について市が運営・管理の全てを直接行うよう改正するもの。	
下呂市水道事業給水条例の一部を改正する条例について 水道法の一部改正に伴い、給水装置工事事業者の指定の更新に係る手数料を定めるもの。	
下呂市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例について 水道法施行規則の改正に伴い、布設工事監督者資格要件の選択科目を改めるもの。	

前ページに続き全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	審議結果
下呂市下水道事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例について 下呂市下水道事業について令和2年4月1日から地方公営企業法の規定を適用することに伴い、関係する14条例について改正するもの。	可決 (全会一致)
令和元年度下呂市水道事業会計への繰出について 濁河給水施設の災害復旧に要した経費を水道事業会計に一般会計から繰り出しするもの。	
令和元年度下呂市立金山病院事業会計への繰出について 医業収益などの全ての収入を充てても不足する病院事業運営経費を一般会計から繰り出しするもの。	
令和元年度下呂市一般会計補正予算（第7号）	
令和元年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	
令和元年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）	
令和元年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）	
令和元年度下呂市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	
令和元年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第3号）	
令和元年度下呂市水道事業会計補正予算（第3号）	
令和元年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第3号）	
令和元年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第3号） 人事院勧告に伴う職員給与費、共済費、退職手当組合負担金の補正、それに伴う会計間の繰入金、繰出金の補正ほか。	
令和元年度下呂市一般会計補正予算（第8号） 市道森8号線道路改良に伴う用地、市道森12号線の未登記道路用地の購入に伴う補正ほか。	
財産の取得について 下呂市有線テレビ施設下呂サブセンターの通信装置などを購入するもの。	
財産の取得について 学校ICT環境整備の一環として、各小中学校の教室に電子黒板に代わる大型提示装置などを整備するもの。	

○全会一致で可決した議案 ①委員会提出議案 ②請願

議案名	審議結果
① 下呂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について 下呂市議会議員の市内公務における費用弁償(交通費相当)について、令和2年4月1日から下呂市非常勤の特別職職員費用弁償の計算方法を適用し、支給するため改正するもの。(詳細はP4参照)	可決 (全会一致)
② 下呂市障がい者就労施設等から物品等の調達の推進等に関する請願 下呂市内の障がい者就労施設等からの物品や役務の調達について拡大をお願いするもの。	採択 (全会一致)



12月16日、委員会を開催し付託された、4議案について審査した結果、全て全会一致で可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『下呂市下水道事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例について』(下呂市下水道事業について令和2年4月1日から地方公営企業法の規定を適用することに伴い、関係する14条例について改正するもの)

Q 下水道事業が公営企業会計となれば独立採算となるが、料金との関係はどうなるのか。

A 公営企業法を全て適用することで、すぐに料金に直結するということは考えられません。ただし収入をもって事業を運営していく上では、今後どこかで料金の見直しについても検討しなければなりません。管路も更新時期にきているところが沢山ありますので、市民の皆さまに十分現状を理解していただき、詳細な説明をした上で、しっかりと方向性を決めていきます。

下呂市議会は、議会議員への費用弁償(交通費相当)を支給するため条例改正をしました。

平成25年度に、議員の市内公務に係る費用弁償を条例改正し廃止としましたが、議会・議員活動の活性化を図るためには、登庁に要する交通費相当の費用弁償の支給が必要なのではないかとの問題が提起されました。これまで議会改革特別委員会を中心にその支給について議論を重ね、次の理由により令和2年度から費用弁償(交通費相当)を支給することとしました。

【費用弁償支給に係る理由】

- 廃止前の議員の費用弁償については、職員の県内出張に係る日当2,000円を算定根拠とし、その半額の1,000円を上限に登庁に要する距離等に応じた額を、出務日当的な意味合いで支給がされていた。今回支給することとしたのは登庁に係る交通費実費相当で、当市の非常勤の特別職職員の費用弁償の計算方法と同様、登庁に要する距離が片道2キロメートル以上の場合、1キロメートルにつき20円を適用し、支給するものであること。
- 当市は、851平方キロメートルという広大な面積を有し、北の小坂地域、南の金山地域の遠いところからは、市役所下呂庁舎まで距離にして約30キロメートル、車で40分程度を要し、各議員の自宅から市庁舎までの交通費が支給されないことで、議員の経済的負担を生み出していること。
- 当市の他の非常勤特別職職員においては、職務を行うための登庁に要する距離に応じた費用弁償が支給されていること。

総務教育民生 常任委員会

12月13日、委員会を開催し付託された、10議案と請願1件について審査した結果、全て全会一致で可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『下呂市個人情報保護条例の一部を改正する条例について』(個人情報情報を適切に管理し、かつ、円滑な事務実施のため改正するもの)

Q 個人情報流出は現実に発生している中で、業務の効率化を優先して妥当と判断すれば、審査会の意見を聞かずに、個人情報の収集と提供ができるようにするのは適切なのか。

A 今回の改正は、庁舎内や地方公共団体などにおける業務上の情報の収集と提供を対象としており、外部への情報提供を想定したものではなく、円滑な事務実施につなげるものです。また審査会への事後報告を規定しています。

『令和元年度下呂市立金山病院事業会計への繰り出しについて』(医療収益等の全ての収入を充てても不足する運営経費に対し、一般会計から繰り出すもの)

Q 一般会計からの繰り入れに頼るのは今年度限りか。

A 公営企業会計として運営している金山病院は、独立採算制が大原則となっていますが、内科医師1名が退職し、入院・外来とも診療収益に大きな影響を受け、一般会計からの繰り入れに頼らざるを得ない状況となりました。令和2年4月には新しい医師に来ていただけの見込みとなり、一般会計からの繰り入れは、今回限りであるとの認識で経営改善に努めます。

『下呂市障がい者就労施設等から物品等の調達への推進等に関する請願』(障がい者優先調達推進法に基づき、さらなる物品と役務の調達の拡大を願うもの)

Q 下呂市における障がい者優先調達の現状は。

A 障がい者優先調達推進法では、市町村においては努力義務となつています。下呂市でも物品・役務の調達を推進するため、予算編成時などにおいて各部署に対し、優先調達推進に向けた要請を行っていますが、新たな業務をつくり出していくことも必要と考えます。たとえば、各種計画策定にあたりコンサルタントに全面委託するのではなく、アンケート調査の封入作業などを切り分けて優先調達としていくなどの方法で、推進していきたいと考えています。

予算特別委員会

12月17日、委員会を開催し付託された、10議案について審査した結果、全て全会一致で可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《デマンドバス運行経費の補正》

Q この増額補正で自宅からバス停までが近くなるということか。地元の意見に配慮し、停留所の設置場所を決定してほしい。

A 停留所の設置については、区長を交えた分科会の中で決定しました。馬瀬は50力所、小坂は42力所の設置を予定しています。

《小学校施設維持補修費の補正》

Q 小学校トイレ改修事業の不用額を中学校トイレ改修に組み替えて整備することは、効率的な予算の執行であると考えます。今後も継続して整備してほしい。

A トイレ器具などの設置については、各学校の状況に応じて対応していきます。

《固定資産税歳入の補正》

Q 固定資産税2千万円の増額理由は、

A 家屋分で3年に一度の評価替えを基に当初予算で見込みを立てていましたが、評価の落ち込みが少なかったため増額補正するものです。

《小坂老人保健介護サービス事業費の補正》

Q 作業療法士が不在とのことだが、今後の確保はどうするのか。

A 昨年度、訪問リハビリを必要としていた一部の利用者については民間の医療機関へ移行していただきました。現在勤務する理学療法士の負担軽減も考慮しながら、今後の理学療法士若しくは作業療法士の確保について検討しています。

《介護予防事業費の補正》

Q 介護予防・生活支援事業(予防事業)の1千万円程の減額理由は、

A 通所Cのサービスについて、上半期の実績で利用者数が減ったためです。人口減少、2025年問題など介護の需要が増える見込みであり、在宅に対する支援についても何らかの対応が必要と捉えています。

※通所Cサービス：通所しながら短期間に行う筋力アップ教室



濃飛横断道・リニア特別委員会

【10月21日】

◆場所 中津川市役所

◆内容

下呂市、郡上市、中津川市、東白川村で構成する「濃飛横断道・3市1村議会委員会合同会議」が開催されました。リニア開通に合わせ、中津川〜郡上間の早期全線開通が必要であり、整備促進に力を注いでいくことを確認しました。また、令和2年1月に、合同会議で初めて県へ要望に行くことが決定しました。

【12月12日】

◆場所 下呂庁舎第1会議室

◆内容

濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会の国、県への要望活動の状況について執行部から説明を受けました。

①中津川工区5キロメートル区間の早期完成

②郡上市八幡から和良間の早期事業化

③下呂市から中津川市間の早期事業化

飛騨地域3市1村議員研修会を開催

【10月1日】

◆場所 高山市ひだホテルプラザ

◆内容

下呂市、高山市、飛騨市、白川村の3市1村の議員研修会が開催されました。山梨学院大学法学部教授江藤俊昭氏を講師に迎え「議会改革の到着点と課題」住民自治の根幹としての議会を「作動させる」と題した講演が行われました。

住民自治の根幹となる議会の役割について、議会基本条例や議会改革など他市の例を挙げながら説明いただき、大変参考になりました。



江藤教授の講演を聞く議員

一般質問 12人が市政を問う



9番
伊藤 厳 悟 議員

道路沿いの風倒木対策について

①道路沿いの風倒木対策は。

◆建設部長

今まで行っているライフライン事業や、所有者の負担割合なども考え、新たな対策を検討しています。

◆建設部長

危険と思われる箇所については事前防災の観点から、市道、県道、国道を問わず、電線の管理者である電力会社に対し、伐採をお願いしています。

濃飛横断自動車道の進捗について

リニア開通に伴う今後の見通しは。

◆市長

中津川市内において、中央道から県道苗木恵那線美恵橋までの5キロメートルの改良や、並松交差点改良を含むバイパス、国道257号塞ノ神峠の概略設計などが予算化されています。また、今年度から新たに飛騨の2市1村と加茂の2町にも期成同盟会に加入いた

だき組織も強化されました。郡上市内の堀越峠の区間は、国の直轄代行として施工していただくように要望しています。

国道41号改良の進捗について

①門原防災（トンネル工事）の進捗は。

◆市長

今年度用地買収を行います。トンネル工事が着工できるよう、現道の仮設工事が計画されています。

②屏風岩改良の進捗は。

◆市長

用地買収は市独自購入分を除き完了しています。令和元年12月よりボーリング調査に入ります。

下呂市の災害状況は

①土木関係の状況は。

◆建設部長

昨年の災害で、本年度に繰り越して施工している工事を含め、本年度の台風、雨による2次災害は確認されていません。大きな公共災害となるものはありませんでした。

②農林関係の状況は。

◆農林部長

令和元年10月12日に伊豆半島に上陸した台風19号で、ビニールハウス等の全壊が12棟、半壊が23棟、半壊未満が57棟、その他ビニールのめくれなど軽度の被害が209件ありました。



4番
今井 政 良 議員

市長として4年間の総括と、新年度予算編成について

①市長として4年間の総括を。

◆市長

合併特例事業債を活用した大型事業や、新最終処分場の用地選定などほぼ完了しました。子育て政策の一環として社会教育主事を配置、花火ミュージカルなど地域のイベントに中学生がボランティアとして参加し、それが高校生に引き継がれるなど、子どもたちのふるさと教育が進んでいます。また、「健康寿命を延ばそう！アワード」健康政策（減塩）で厚生労働大臣最優秀賞を受賞しました。

②新年度予算編成の重点項目は。

◆市長

総合計画の3つの重点プロジェクトである①人口減少対策②行財政改革推進③地域づくりのしくみに取り組めます。また、市民生活に直結した部分を「つなぐ」ように取り組みます。

降雪による倒木災害の対応は

◆副市長

岐阜県のライフライン保全対策

事業は、暴風・雪害などによる停電対策として、今年度から3カ年事業で実施されています。この事業で今年度2カ所を実施することとしています。

防犯カメラの今後の設置計画は

◆市長公室長

市内の公的防犯カメラは、防犯協会が設置管理する12台に加え、今年度は新たに5台を新規に設置し、運用を開始しました。

旧下呂温泉病院跡地活用の現状と今後の計画見通しについて

①跡地活用の現状は。

◆観光商工部長

下呂市湯けむり広場条例により申請のあった期間のみ利用を許可しています。現在の利用状況は、地元の区をはじめ、商工会や観光協会などの観光商工関係者や、各種イベントの団体、工事業業者などが利用しています。

②旧下呂温泉病院跡地を含む駅周辺の整備計画について、財源は確保できるのか。

◆市長

下呂駅周辺の整備は、大規模かつ長期的な事業となることが想定されることから、市にとってより有利で計画的に進めることのできる事業スキームを構築することが必要です。このため、まずは下呂駅を管理するJR東海との間で十分に協議を行うとともに、国や県からの綿密な情報収集に努めます。



2 番
中島 ゆき子 議員

公の施設見直しについて

①進捗状況と今後の計画は。

◆総務部長

見直しの対象施設の総数は373施設、このうち平成31年3月末までに26施設の譲渡と、29施設の廃止が完了しており、今年度に入り、4集会所施設を地元自治会に譲与しました。残る施設は存続240施設、統合17施設、譲渡44施設、廃止13施設です。

②市内に3カ所ある道の駅を、活気あるものとするための市の取り組みは。

◆市長

それぞれの道の駅の地域性、当初の設置目的などを尊重するとともに、市内3つの道の駅が連携した事業を展開するなど、市としても後押しをしていきます。

③公の施設の見直しが進む中、図書館建設についての考えは。

◆市長

下呂市図書館の在り方研究会において、勉強会や先進図書館の視察、ワークショップなどを実施し、下呂市図書館のこれからのあり方

について、調査・研究をしていただいています。

人生100年時代を迎え、下呂市の健康寿命を延ばす取り組みについて

①減塩推進の取り組みが評価され「厚生労働大臣最優秀賞」を受賞したが、これからの目標は。

◆健康福祉部長

まだまだ高血圧・脳血管疾患の患者が多い状況であり、今後も減塩推進運動を進めていきます。

②健康寿命の延伸には運動も重要と考えるが、市の取り組みは。

◆健康福祉部長

ライフサイクル別に運動支援に取り組みます。令和2年度はこども園における運動支援や、65歳以上の方に対する体力測定の実施を計画しています。

◆金山地域4小学校の統合について

金山地域4小学校の今後のあり方についての説明会が開催されたが、出された意見は。また市の方針は。

◆教育長

参加者からは、統合に反対する意見は1件もありません。早期の統合を望む意見が大半でした。今後、議会に相談しながら、総合教育会議でも協議いただき、保護者や地域の皆さまの早期の統合を望む声に応えられるよう努力していきます。



3 番
田中 副武 議員
(公明党)

防災について

①土砂災害ハザードマップの見直しですが、小坂・馬瀬地域から始まった。これを機会にマイ・タイムラインや、地区の防災計画策定につないでいけないか伺う。

◆市長公室長

ハザードマップの見直しにかかるワークシヨップでは、今一度地域での危険箇所や過去の災害履歴などを共有いただいた上で、それぞれの避難場所や避難経路などをあらかじめ認識いただきます。また、住民自身による適時適切な避難行動を補完するため、一人一人の情報や行動予定を記載した「災害避難カード」の作成を、地域ぐるみで取り組んでいただくよう啓発しています。これらの地道な取り組みを積み重ねながら、マイ・タイムラインや地区の防災計画策定につなげていきたいと考えています。

②災害復旧工事が進んでいるが、河川に災害によって流出した土砂の堆積がある。堆積土砂の撤去について伺う。

◆建設部長

県管理の河川については、濁水時期に随時堆積土砂の撤去をお願いしており、撤去する計画となっています。市管理の河川も、早急に撤去しなければ2次災害にもなりかねない所など緊急性の高いところから、随時堆積土砂の撤去を行っています。

公共土木工事の平準化について

災害復旧には地域建設業者の協力が不可欠。人材確保が難しい中、担い手確保のために公共工事の発注時期の平準化が必要と考える。

①単年度で完結するのが原則だが、大規模な公共工事以外の工事

も債務負担行為として設定できないか②ゼロ市債についての考えは③繰越手続きについての考えを伺う。

◆総務部長

いずれも発注・施工時期の平準化のために、柔軟に対応させていただきます。

◆建設部長

建設業の人材不足などを踏まえ、今後も発注の平準化に努めていきます。





1 番
尾里 集務 議員

下呂市地域公共交通網形成計画について

路線バス廃止に伴う交通体系の見直し計画について、その内容は市民にしっかり伝わっているのか。

◆生活部長

地域説明会については、開催案内を各戸配布で周知し、馬瀬地域は10月中旬に3会場で開催しました。また、小坂地域は12月から令和2年1月にかけて4会場で開催する予定です。利用される方々のご理解とご協力が得られるよう説明会を開催しています。また質問があれば、振興事務所や生活課で対応しています。

下呂市としての地域ブランドの考えについて

①ある研究所の調査で下呂市は地域ブランド力評価が全国54位となり、県内ではトップであった。下呂市としての考えは。

◆市長

米の食味国際コンクールで馬瀬ひかりが最高金賞を取ったことや、健康アワードで最優秀賞を受

賞したことを情報発信しながら、さらなる下呂市のブランド力向上につなげていきます。

②下呂市としての地域ブランド力のセールスを、今後どのように行っていくのか。

◆市長

居住意欲について評価されたという点も強調しさらなる魅力度アップに努め、多くの観光客の誘致と移住定住策に利用していきます。

SDGs（エスディーズ）の取り組みについて

①国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）について、下呂市としての取り組みは考えているのか。

◆市長

SDGsにある17の目標は下呂市第二次総合計画や下呂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の理念と共通するものであり、その考え方を取り入れながら施策を進めていきます。

SDGsは、持続可能な開発のための17のグローバル目標と169のターゲット（達成基準）からなる国連の開発目標です。2015年9月の国連総会で採択されたもので、2030年に向けた具体的行動指針。



12 番
中島 新吾 議員
(日本共産党)

災害に強いまちづくりに全力で、特に周辺部への対策をしっかりと

今までの経験では対応できない事態の災害が各地で発生している。被害の拡大を防止するための対策と予防対策が重要。

①避難における市民への伝達や避難所の体制は。地区での平時の課題とその充実強化は。

◆市長公室長

市内の雨量や河川の水位情報など数あるデータがあらゆるサイトに点在しているため、さまざまな情報を一元化して確認できる「下呂市雨量・水位一元化システム」を立ち上げました。スマートフォンやパソコンから容易に確認できるように、大雨などの危険な時に、自分の地域の情報として確認していただけるよう周知を図っていきます。また、今年度から更新を始めた土砂災害ハザードマップの見直しにかかるワークショップでは、住民自身が自分の住んでいる地域の危険箇所や災害箇所を改めて確認し、それに伴った避難場所や避難経路などをあらかじめ認識

いただくよう進めています。

②周辺部では、振興事務所は生活となりわいの拠点であり、防災対策でも要となる。だから現場主義を重視した職員体制にして機能の充実を。

◆総務部長

下呂市組織再編計画が令和2年度で終了することを踏まえ、現在まで行ってきた組織再編を検証することも必要と考えています。下呂市としては、持続可能な行政運営を維持していくためにも、効率的な組織運営が求められており、限られた人材を効率的に配置しながら行政課題を克服してまいります。

地域医療をしっかりと守るために

地域医療を担う公立・公的病院の再編、統合を迫る安倍政権の強引な計画に、市と市長は明確な抗議の姿勢を示すべき。地域医療をしっかりと守り充実させるための施策を。市立金山病院などが、災害時に孤立する危険があるため、道路の確保対策を早急に。

◆市長

全国市長会において、国に対し地域医療の確保に関する重点提言を提出しています。道路については、金山病院へのアクセス道路である県道について、平成30年の災害後、すぐに県に対して安全なルート検討を強く要望しました。



8 番
中島博隆 議員

道の駅かれん・ゆったり館の民営化について

かれん、ゆったり館の2施設は、令和2年度の民営化に向けて進んでいると聞いているが、現段階での進捗状況を伺う。

◆金山振興事務所長

両施設の民営化を令和2年度からとして進めていきましたが、しっかりとした施設運営ができるよう現指定管理者と経営診断の結果を検証し、施設運営の方向性や改修について協議を重ねており、令和3年4月の民営化を目指すこととしました。令和2年度も指定管理による施設運営を継続します。

◆金山地域4小学校の今後について

金山4小学校統合に向けての要望書が提出され、その後この件について各地区で8回今後のあり方について説明会も開かれている。地域住民の関心も高まっており分かる範囲で今後の予定を伺う。

◆教育長

説明会の中で、今まで経験のない4校の統合を、約1年の準備期

間で進めるのは相当厳しい日程で、令和4年の統合が現実的だとお話をさせていただきました。しかし、子どもたちのために1日も早い令和3年の統合を望む保護者、地域の皆さまの熱い思いを尊重し、令和3年の統合として進めていく方向で調整中です。今年度内に統合準備委員会を組織し、校歌・校章、学校の教育目標、教育課程の設定、PTAの組織、閉校・開校時の取り組みなどの課題を部会で検討して、詳細を詰めて統合に向かっていきたいと考えています。

◆会計管理者を部長級に

下呂市の会計事務の責任を担う会計管理者は、その責任も重く現行の課長級を部長級にすべきと思うが、その考えは。

◆市長

課長級に見直しした会計管理者については、令和2年3月31日で見直しから3年が経過することとなりますが、現在では対外的にも内部的にも業務が滞りなく進んでいるものと考えています。平成27年9月に策定した下呂市組織再編計画が令和2年度で終了するため、これまでに行ってきた再編を検証することとしています。会計管理者の位置づけについても、その中で考えていきます。



13 番
中島達也 議員

少子化時代に向けた取り組みについて

行政にとって少子化対策と子育て支援は重要な課題である。
①下呂市独自の子育て支援の現状と、今後の取り組みは。

◆健康福祉部長

こども園化や子育て・保育ステーションの設置など保育施設の再編により、同年齢児による集団保育の実現や未満児保育の拡充、加配保育士の配置や相談体制の整備、さくらんぼ教室による療育の実施などに取り組んできました。今後は体調不良児対応型病児保育の実施や、保育士の負担軽減による保育の質の向上を目指し、こども園のICT化に取り組めます。

②少子化対策の現状と今後の取り組みについて。

◆健康福祉部長

保育の無償化に伴い増加が予想される未満児保育について、事業所内保育事業や企業主導型保育事業など、民間の保育事業についても奨励し、市全体として保育体制

の確保に努めます。

③少子化時代のふるさと教育や活力ある学校教育について。

◆教育長

少子化の時代であるからこそ、学校だけでなく地域、家庭が丸となった取り組みが重要と考えます。コミュニティスクールと並行して地域学校協働活動が発展していくことで、子どもたちの中にあるさを思う心が大きく養われ、さらには地域コミュニティの活性化につながっていくものと期待しています。

◆超高齢化社会に向けた取り組みについて

2025年には国民の4人に1人が後期高齢者という超高齢化社会を迎える中、社会保障費の抑制など今後の取り組みについて伺う。高齢者の地域活動への支援の現状と、健康寿命延伸の取り組みは。

◆健康福祉部長

シニアクラブの皆さまが、沿道の花壇整備やグラウンドゴルフ大会など、人とのつながりや地域づくりに活躍されています。こうした活動に対し市として財政的支援を行っています。現状としてシニアクラブ会員数の減少という課題があることは承知していますが、生き甲斐づくりと健康寿命延伸のためにも支援を継続していきます。



7 番
宮川 茂 議員
(日本共産党)

市営住宅の入居条件について
市営住宅の入居には連帯保証人が原則2人必要だが、高齢者や低所得者は連帯保証人を見つけないことが困難なため、連帯保証人を不要にすることはできないか。

生活部長
下呂市としては低所得者や単身高齢者など入居希望者の増加を踏まえ、保証人が確保できないために公営住宅に入居できないといった事態が生じることのないよう、個別の事案ごとに判断してまいります。

下呂大橋歩道の整備について
下呂大橋の上流側の歩道は、中央部に滑りやすいタイルがあり、雨天時はもちろん、濡れていて凍った際には確実に転ぶ恐れがある。滑らない工夫が必要ではないか。

建設部長
歩道中央部の手形は下呂大橋の特徴でもあることから、タイル表示を生かす方向で、透明な樹脂によるすべり止めの防止対策を今年度中に実施します。

非核平和都市宣言について
市役所に「非核平和都市宣言」という懸垂幕が、10年以上前にかけてあったが最近見たことが無い。何かアピールするものを作成できないか。

総務部長
ご指摘いただきました懸垂幕は、経年劣化により廃棄しました。市としては、核のない平和な世界の実現に向けた活動を今後も切れ目なく進めるため、新たな懸垂幕の購入などを検討しています。

サル、クマなどの鳥獣被害の対策について
本年度下呂地域において、街中にサルやクマが出没して人に被害を与えた。人家近くにサル、クマが出没した場合の市の対応は。早く駆除することができないか伺う。

農林部長
サルは、放任果樹の収穫や伐採可愛がりエサを与えないなどサルを引き寄せないことと、捕獲の両面での対応をしていきます。また、クマは市街地や道路近くでは猟銃などを用いての捕獲は法律の規制によりほぼ困難なため、関係機関とも十分に連携を取りながら対応に当たってまいります。



11 番
吾郷 孝枝 議員
(日本共産党)

介護の担い手支援について
① 困難を抱える家庭に介護サービス利用料負担の軽減や、福祉施策として介護者へ慰労金の支給を。

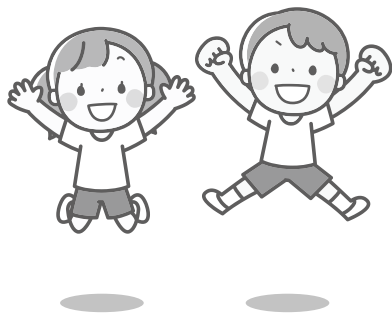
健康福祉部長
現時点では、介護者への新たな慰労金の支給は考えていません。下呂市は、要介護3以上の在宅介護者に対し、月額5万円又は6万円の介護用品券を支給しています。現金での支給か、介護用品券での支援かの違いはありますが、家族介護を支援する趣旨は同じです。

健康福祉部長
② 介護施設で働く人にとって、一番つらい夜勤に対し、市独自の処遇改善支援が必要と考えます。

健康福祉部長
現時点では、介護施設での夜勤者に対する市独自の処遇改善支援策として補助金などは考えていません。なお令和2年度から「介護施設における省力化・機械化を促進する支援制度」の創設を考えています。市内の介護施設で働く方の職場環境の改善を支援し、負担

軽減を図る取り組みを進めます。
こども園の給食費無料化で子育て支援をさらに進めて
令和元年10月からの保育料無償化により、国から子ども子育て支援臨時交付金が交付されます。これまで市の保育料は国の基準より低く設定され、保護者負担の軽減が政策的にもされてきました。国からの特例交付金との差額を給食費に充てれば、保護者負担の給食費の無料化は可能です。浮いてくる財源はどれくらいか。

健康福祉部長
下呂市独自の利用者負担軽減にかかる部分は4114万円と算定されました。給食費は、家庭で子育てをする場合でも生じる費用で、保護者が負担すべきものとして整理されているものであり、無償にならないことについてはご理解をお願いします。





10 番
一木良一 議員

下呂温泉病院勤務医のため、市による医師住宅の整備を

市有地を利用し、平屋戸建の医師住宅の環境整備を早期に取り組みべきではないか。

◆健康福祉部長

医師を招へいする上で、医師住宅の環境整備は議員ご指摘のとおり重要なことと考えます。しかし、市内には金山病院、小坂診療所など市立の医療機関があり、市直営の医療機関に勤務いただいている医師の住環境整備を優先して取り組む必要があると考えます。

医師不足の現状と対策について

①県立下呂温泉病院、市立金山病院、小坂診療所及び地域診療所はどうか。

◆健康福祉部長

小坂診療所は自治医科大学卒業の医師3名の派遣を受けています。下呂温泉病院は大学病院やエージェントを利用し勤務いただける医師を探しています。直近の数字で医師は28名で、最盛期と比べ4割減っています。

◆金山病院事務局長

金山病院は岐阜大学医学部から常勤医師8名を派遣いただけていますが、急ぎよ退職された医師があり、内科は2名体制となっています。

②働き方改革と医師の過重労働における市立、県立病院の現状について。

◆健康福祉部長

小坂診療所は時間外勤務が特に多いということはありません。下呂温泉病院については人員不足のため、当直をされた医師がそのまま勤務している状況もあり、医師の負担軽減のため電子カルテの導入や、土日はスポット的に市外の開業医にお願いし休んでいただくなど、働き方改革に取り組んでみえます。

◆金山病院事務局長

金山病院では医師の負担を少しでも減らしたいため、当直業務については岐阜大学および県立病院の医師に応援を依頼しています。

③医師招へいのため、市は具体的にどのような取り組みをしてきたか。

◆健康福祉部長

市は岐阜大学に対し医師の派遣をお願いしたり、自治医科大学に対しても直接学生に下呂市の魅力を伝えたりしています。医学部生に下呂市の地域医療を知っていただき、将来下呂市に來たいと思っただけでなく、「地域医療セミナー」を開催しています。



14 番
中野憲太郎 議員

地域医療を守る金山病院の経営状況について

金山病院の現在の課題と今後の経営見込みは。

◆金山病院事務局長

昨年4月から10月末まで、7カ月の外来延患者数は2万2777人と前年比較で774人の減です。また、入院延患者数においても1万2445人、前年比較1428人の減となっています。内科医師1名が退職された影響が大きく出ており、診療収益についても大きな落ち込みを見込まざるを得ない状況で、10月までの診療収益については、外来、入院とも前年度より減収となっています。平成28年度に策定した「下呂市立金山病院改革プラン」を遂行することにより、病床利用率向上による収益増などを目指し、院長を中心に病院職員が一丸となって経営改善に取り組んでいます。

萩原きたこども園の充実強化(改修時期)について

統合したことも園は、新築又は大規模改修を行うことになっている

が、時期はいつ頃か。

◆健康福祉部長

平成26年度に、地元区長会から、「萩原北保育園の大規模改修に関する要望」をいただいています。早期の改修をお願いしたいというもので、いくつかの改修箇所も示していただきました。その後平成27年度からは指定管理に移行し、要書記載部分はもちろん、新たな不具合や経年劣化については、指定管理者の意見を伺い、十分協議の上、できるだけ早い対応をしています。

市役所組織の見直しの予定は

見直しの検証を踏まえ、新年度に向けて予定はどうか。

◆市長

令和2年度が最終年度となっている組織再編計画では、環境部と生活部の統合を計画していましたが、この統合は現状では十分な効果が見込めないと判断し、統合は見送ることとしました。

令和2年度で組織再編計画が終了することを踏まえ、これまでの再編を検証していきます。昨今、業務が高度化、複雑化する中、部長の監督業務の範囲は広くなり、職責も重くなっています。これらを踏まえ部や課のあり方、職員配置も含め検討していきます。

市民と議会との意見交換会を開催

10月23日から29日までの5日間、市内5地域で延べ10回の「市民と議会との意見交換会」を開催し、62名の皆さまに参加いただきました。

意見交換会では『未来の下呂市を議員と一緒に考えましょう』を主テーマとして、参加いただいた皆さまから多くの意見や提言をいただきました。寄せられた意見などは、調査研究するため各常任委員会に引き継ぐものと、市執行部に必要な対応を求めるなど議会として対応しています。今後も市民の皆さまの貴重な声を市政に生かすため、議会として取り組んでいきます。

寄せられた意見などの一部を紹介させていただきます。

★公共交通について

＊路線バス運行の撤退など公共交通の取り組みについて丁寧な情報提供を。

＊高齢者にとって利便性の高い公共交通網の構築と、高齢者の安全運転を支援する取り組みの推進を。

★インフラ整備について

＊国道41号の事故や雨量規制による通行止めを回避する迂回路を。

＊交流人口増加に向け、交通アクセスの改善が大切。リニア開通ま

でに濃飛横断自動車道の整備を。
＊馬瀬地域の国道257号の早期改良と荘川ICへの接続を。

★防災・減災について

＊障がいがあることで、避難をする時、援助してもらえないか不安。
＊岩屋ダムの緊急放流をしなくても回避することができるとの対策を。
＊停電の原因となる倒木のおそれがある木の伐採と、道路にはみ出した通行障害となる枝の除去を。
＊昨年の災害により河川に堆積した土砂の除去を。

★人口減少・少子高齢化・子育てについて

＊就労人口が減少する中、移住・定住と少子高齢化対策に係る積極的な取り組みを。
＊子どもを安心して遊ばせることが出来る広場や公園の整備を。



金山市民会館(10月29日)の意見交換会

★第一次産業について

＊農地(田・畑・茶園)の維持保全のための支援を。
＊若い世代へ米作りを伝えるなど農業、林業への支援を。

★その他

＊旧下呂温泉病院跡地の活用は。
＊益田清風高校への支援を。

★議会との意見交換会について

＊市民の意見を十分聞いて政策に取り込んでほしい。
＊議員と話す機会が少ないため、意見交換会が必要。

＊1人の発言時間を決め、多くの意見を聞いてほしい。

＊校下ごとや人口割合を考慮した開催を。

＊市民の参加が少ないので、各地域1回の開催で良いのでは。

★議員報酬などについて

＊若い議員を増やすため、議員のなり手不足の解消のために引き上げても良いのでは。

＊財政赤字が心配、災害対応にも費用がかかるので今は引き上げるべきではない。

＊議員個々の活動を支援するため政務活動費は必要ではないか。

◎寄せられたご意見や提言は、下呂市ホームページに掲載しています。

市長に要請書を提出

各地域の意見交換会でいただいた意見や提言のうち、特に下呂市が直面する喫緊の課題を2項目にまとめ、市長に要請書として提出しました。

★高齢化社会に対応した公共交通

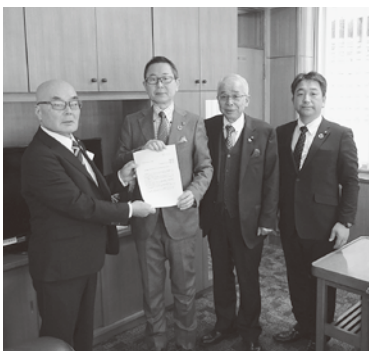
＊高齢者をはじめとする交通弱者に配慮した利便性の高い公共交通網の構築を。

＊高齢運転者が少しでも長い間、安全運転が続けられるための支援を。

★想定外の災害への対策

＊自助と共助を基本とした家庭や地域での取り組みに有用なさまざまな情報の提供を。

＊全ての地区で共助の取り組みとして災害時に必要な方に適切な支援と配慮がされるよう、積極的な働きかけと助言を。



市長に要請書を提出する議長

市外視察

総務教育民生常任委員会

〔11月12日～13日〕

◆視察先 愛知県蒲郡市

◆目的

蒲郡市が取り組む地元温泉旅館を利用した保健指導について、調査し政策提言への参考とする。

◆内容

平成23年度の特定健診結果で、メタボ該当割合が県内1位、保健指導終了率も県内最低の結果を受け、健康づくりが市の重点施策となった。商工会や医師会などの関係機関と協議を重ね、生活習慣病が疑われる方を対象とした地元温泉旅館に1泊する新たな保健指導プログラムの実施を開始した。対象者に継続的な支援を行うことで、メタボ該当者の減少につながり、また関係機関の横断的な取り組みが成果を生み出したものと言える。

◆視察先 三重県いなべ市

◆目的

いなべ市が取り組む元気づくりシステム推進事業を調査し、政策提言への参考とする。

◆内容

厚生労働省の「市町村介護予防

強化推進事業」のモデル指定を受け、行政主導で始められた「元気づくりシステム推進事業」は後に健康・福祉・医療の連携による一般社団法人元気クラブいなべが中心となり、住民主体で実施がされている。通所と訪問の介護予防サービスを6カ月体験した元気なお年寄りが、地域のふれあいの場で介護予防の指導者として活躍している。この他に「介護予防把握事業」では、70歳以上の方に健康自立度チェック票を毎年送付し、その回収率は91%である。未提出者には「お達者訪問事業」として各家庭を訪問することで、介護予防対象者の早期発見につながっている。担当者からは「元気づくりシステムを全国に普及できれば」との思いも述べられ、下呂市でも検討する必要性を感じた。



いなべ市長寿福祉課から説明を受ける

産業経済常任委員会

〔11月5日～6日〕

◆視察先 速水林業（三重県紀北町）

◆目的

FSC森林認証制度を活用し先進的な森林経営を行っている速水林業を調査し、政策提言への参考とする。

◆内容

森林認証とは独立した第三者機関が、森林管理を公表された基準に照らし合わせて評価・認証していく制度で、速水林業は国内最初の平成12年2月にFSC（森林管理協議会）の認証を取得している。FSC認証により、約1000ヘクタールある自社山林を適切に管理し、認証した木材やさまざまな木材製品などを広く消費者に流通させ、森林保全に向け取り組みを行っている。下呂市においても、FSCの認証などを取り入れた森林整備を進めることができないか調査していく。

◆視察先 三重県志摩市

◆目的

志摩市の取り組みSDGs（P8参照）を活用したまちづくりを調査し、政策提言への参考とする。

◆内容

志摩市は人口減少や高齢化に危機感を持ち、地元企業や団体などと共に、国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）を平成30年6月から実施している。17の目標のうち「海の豊かさを守る」の活動としてフグの放流や漁業者と市民が連携して藻場の再生活動を実施している。また「陸の豊かさを守ろう」など地域に合った目標を掲げて活動している。下呂市の事業や取り組みを次の世代に引き継いで行くために、SDGsを活用したまちづくりができないか、研究を進めていく。



志摩市SDGs未来都市推進室から説明を受ける

市内視察

総務教育民生常任委員会

〔11月26日〕

◆場所 下呂市立下呂小学校

◆目的

*学校教育におけるICT活用

*校長会理事会との懇談

◆内容

来年度から小学校でプログラミング教育が必修になることを受け、4年生の総合的学習で行われた授業を視察しました。小学校は担任が授業を行うので、プログラミング教育の導入により担任の負担が大きくなるのではと心配する声もありました。

校長会理事会との懇談会では、今年度、普通教室に大型テレビとパソコンが配備されるが、ICT（情報通信技術）の環境整備はまだ十分ではないことや、教員の指導力の向上も求められているとのことです。また、来年度からの取り組みとなるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）に関しては、「ふるさと下呂の風を感じ、ふるさとに誇りと愛着を持ち、たくましく未来を切り拓く子」を地域との協働の中で育んでいきたいとの説明がありました。

表紙の写真

12月12日、東第一小学校の6年生7人が社会科の授業で議会を見学に来てくれました。議員席に座り議会の仕組みなどについて説明を受けたあと、児童から議長に対し「話をするとき緊張しませんか？ 会議中にざわついた時はどうするんですか？」など率直な質問がありました。その後議長席に座っての記念撮影や一般質問を傍聴するなど、普段体験することができない経験ができました。議会の仕組みや市政に対して関心を持てる授業になったのではないのでしょうか。



議会放送システムの説明を熱心に聞く児童

3月定例会会期日程

3月定例会の会期日程をお知らせします。なお一般質問等の内容は新聞折込でお知らせします。

月 日	曜日	会 議 内 容	時 間
2月25日	火	本会議(初日)	午前10時～
3月 5日	木	本会議(一般質問)	
9日	月	本会議(一般質問)	
10日	火	産業経済常任委員会	午前9時30分～
11日	水	総務教育民生常任委員会	
12日	木	予算特別委員会	
13日	金	予算特別委員会	
16日	月	予算特別委員会	
17日	火	予算特別委員会	
19日	木	本会議(最終日)	午前10時～

※日程は変更になる場合もあります。

場所：本会議（下呂庁舎3階議場）

委員会（下呂庁舎3階第1会議室）

令和元年台風19号の 被害に対する支援について

令和元年の台風19号による極めて広範な地域におよぶ甚大な被害の報に接し、亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

下呂市議会は被災者支援に役立てていただくため、全国市議会議長会を通じ15万円の義援金を送りました。一日も早く復興しますことを心よりお祈り申し上げます。